



江能分級で育てたオリーブから作ったオリーブオイルが学校給食で使われました

1月26日、江田島市内の学校給食（およそ800食分）に江田島市産のオリーブオイルが使われました。このオリーブオイルは、呉特別支援学校江能分級の校庭で育てられたオリーブから搾られたもので、サラダに使われ、江能分級が作成したオリジナルのランチョンマットとともに提供されました。

それに先立ち、1月20日には江能分級から西能美学校給食調理場へのオリーブオイル寄贈式（オンラインで開催）が行われました。瓶のラベルに生徒が描いた絵が貼られた特製のオリーブオイル10本。

寄贈式では、江能分級でこの6年間に行われてきたオリーブ栽培の取り組みを、高等部2・3年生がパワーポイント資料を用いて説明しました。



オリーブオイルが使われた給食を食べる江能分級の生徒たち



栽培情報 - 春のオリーブ栽培

★オリーブアナアキゾウムシに注意！



樹の根元に木くずが出ていたら危険信号！

暖かくなってくると害虫対策が必要です。樹の根元に木くずが出ていたら、オリーブアナアキゾウムシによる食害のサインです。マイナドライバーなどで樹皮を削り、幼虫を捕殺しましょう。

症状

こんな時にはゾウムシ発生が疑われます

- ・ 樹の一部の葉が黄色に変色し、ぱらぱらと落ちている
- ・ 株元にオガクズ状の粉がある
- ・ 株元の幹に穴があいている



オリーブアナアキゾウムシの幼虫

マイナドライバーなどで樹皮をめくると幼虫がいます

対処・防除

捕殺、もしくは薬剤による殺虫と防除

- ①(殺虫として) 被害発見や発生確認時に薬剤を散布する
- ②(予防として) 4月・6月・8月など2か月おきに主幹へ薬剤を散布する(スミチオン乳剤50倍稀釈、もしくはダントツ水溶液2,000倍稀釈)
※葉や果実に薬液がかからないよう注意する
※スミチオン乳剤の年間使用回数は3回まで

オリーブで
もっと、
わくわく。

OLIVE NEWS

オリーブだより えたじま



希望の春、植樹の季節

4月になりました。年度も変わり、新しい1年のスタートです。2011年度から始まった江田島市のオリーブ振興も12年目を迎えます。

春は植樹の季節です。2月下旬には、オリーブ苗木購入助成制度*を利用し、511本のオリーブ苗木を市民の皆さんに配布しました。江田島市内のあちこちの畑で、また新たにオリーブが植えられています。

季刊で発行している「オリーブだより」。今回は、この春に行われた植樹行事の様様などをご紹介します。

*江田島市のオリーブ苗木購入助成制度：毎年秋頃から申し込みを開始し、2月頃に苗木を配布しています。詳しくはオリーブ振興室までお問い合わせください（☎0823-43-1643）。



Facebookページでもオリーブだよりの情報を発信しています♪